

Iga City

広報

いが

2026

10

No.418

未来をつくる人



特集 自分の手で、山の未来をつくる

8/2

伊賀線開業 110 周年記念イベント

伊賀鉄道伊賀線は 1916 年 8 月 8 日の開業から 110 周年を迎え、ハイトピア伊賀で記念イベントを開催しました。会場はグッズ販売や伊賀線クイズショーなどで盛り上がり、伊賀線の誕生を祝う一日となりました。



©松本零士/零時社

8/5

一日こども市長体験

市内の小学校 5・6 年生 9 人を一日市長に任命しました。市長室での模擬文書決裁体験や議場での発表など、普段はできない体験に真剣な表情で取り組みました。こどもたちは楽しみながら、市政への理解を深めている様子でした。任務を終えた 9 人の市長の、これからの活躍を期待しています。



8/19

「若戎酒造×川上ダム」貴醸酒入庫式

川上ダムの堤体内で地元の若戎酒造が造った貴醸酒の長期熟成が始まりました。これはダム内で日本酒を熟成させる県内初の試みです。年間を通して環境が安定しているため、熟成に適した条件が整っています。数年後に完成する特別な味わいに期待が高まります。



9/3

市内最高齢者 表敬訪問

市内最高齢者の上田和代さん(107)を、市長が訪問しました。上田さんにはご長寿のお祝いをさせていただき、記念品を贈呈しました。上田さんは「私のためにお祝いをさせていただいてありがとうございます。痛いところもなく、苦しいことなく、元気に生きています。」と喜びと感謝を言葉にしました。



2026 年 9 月 1 日から
開庁（行政窓口等受付）時間変更
午前 9 時から
午後 4 時 30 分まで
詳しくはこちら
皆さんのご理解・ご協力をお願いします。



今月の表紙



今月の表紙は自伐型林業に取り組む関田昇さんと小倉丈一郎さんです。共に伊賀市の山と向き合い、林業を支えている 2 人。今回の特集では、伊賀市の林業が抱える課題と魅力、そして林業者の受け継がれていく思いを紹介します。

内容は 4・5 ページの特集「自分の手で、山の未来をつくる」をご覧ください。

お詫びと訂正

広報いが 9 月号に掲載の「伊賀市長 稲森としなお できごとコラム」に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

誤) 久米地区住民自治協議会
正) 久米住民自治協議会

もくじ

- 03 まちかど通信
- 04 特集 自分の手で、山の未来をつくる
- 06 令和 8 年度（第 80 回）芭蕉祭を開催します
- 08 大山田産廃処分場の設置を禁止しました
- 09 市の人事行政の運営状況をお知らせします
- 10 上野天神祭のダンジリ行事を見に行こう！
- 11 市展「いが」に出品しませんか
- 12 インフルエンザ・コロナウイルスの予防接種を受けましょう
- 13 ひとり親家庭を応援します
障害基礎年金をご存じですか
- 14 行政情報番組「ウィークリー伊賀市」こどもアナウンサー大活躍！
「広報いが」で新年の抱負を発表しませんか
- 15 伊賀市消防フェスタを開催します
伊賀市消防団総合訓練を開催します
- 16 第 67 回伊賀地区駅伝競走大会の参加チームを募集します
緊急通報システムをご利用ください
- 17 水道基本料金を 2 カ月間半額にします
霊山中学校が開校します
- 10 月のアート情報
- 18 暮らしの情報
- 24 スポーツの力
- 25 図書館だより
- 26 伊賀城和定住自立圏ニュース
- 27 公共交通だより
となりまち い・こ・か
- 28 伊賀の歴史余話
イガプロ
- 29 上野総合市民病院だより
明日に向かって（人権コラム）
- 30 11 月の子育てカレンダー
- 31 11 月の無料相談
- 32 いがフォト
10 月の二次救急実施病院



市内中学校体育館の暑さを体感する市長

伊賀市長稲森としなお できごとコラム
きょうも歩く！ Vol.18
学校体育館に空調設備を導入します
暑い夏も終わり、ようやく過ごしやすくなってきましたね。
伊賀市では厳しい暑さからこどもたちを守り、熊本地震でも課題となった避難所としての環境を改善するため、小中学校体育館への空調設備の導入を前倒しで進める決断をしました。
これまで全小中学校で整備率はゼロという状況でしたが、まずは来年度中に中学校 5 校（宗広・緑ヶ丘・城東・青山・霊山）での整備を進め、令和 9 年度から 3 力年ですべての小中学校への整備完了を目標とします。
未来あるこどもたちの教育やスポーツ環境の向上と、災害時も安心で快適な避難所づくりに向け、スピード感を持って「かたち」にしていきます！

自分の手で、山の未来をつくる ～自伐型林業と伊賀市の林業の未来～

伊賀市の約6割を占める森林は、木材生産に加え、水源を育み、土砂災害を防ぐなど、私たちの暮らしを支える多面的な役割を持っています。これまで伊賀市では、所有する山を自ら管理する自伐林家や、森林組合、林業事業体などが中心となり、森林の管理や木材生産を進めてきました。

一方で、林業は担い手不足や高齢化、森林の適切な管理など、さまざまな課題を抱えています。こうした中、地域に住む人が自ら山を管理し、木材を生産する「自伐型林業^{*}」が改めて注目されています。

今回の特集では、自伐型林業に取り組む関田昇さん、小倉丈一郎さん、そして林業施策について助言する地域力創造アドバイザーの中嶋健造さんに話を聞きました。伊賀市の森林が抱える課題や、自伐型林業の魅力、これからの伊賀市の林業について紹介します。

^{*}森林の所有の有無や面積の規模にかかわらず、森林の経営や管理、施業を自ら行い、間伐を繰り返しながら森林を育て、持続的な収入を得る林業のスタイルです。チェーンソーや小型重機などを使い、環境への負荷を抑えながら行うのが特徴です。

図 未来の山づくり推進課 ☎ 41-0934 FAX 22-9715



伊賀市の森が抱える課題

- 林業従事者の減少、高齢化
担い手が減り、高齢化が進んでいます。
- 放置される森林の増加
手入れが行き届かない山が増え、災害のリスクも高まります。
- 山の境界が不明瞭
所有者や境界が分からない山が多く、管理や林業の妨げになっています。

自伐型林業の魅力

- 低コスト
初期投資が数百万円程度に抑えられます。
- 作業道づくり
小型重機で狭い作業道を整備し、森林への負荷を抑えながら木材を搬出します。
- 環境と防災の両立
森林を育て、長期的な森林経営をめざしながら、優れた木を残して間伐をするため、山の保水力や防災力が維持できます。



作設した作業道で木材搬出



伐倒



枝払い



造材



集材・積み込み

山を育て、人を育てる。受け継がれる林業



自伐型林業者
関田 昇さん

会社員として働きながら、50代頃から親が管理していた山に入るようになる。山での仕事に面白さを感じ、定年退職後に本格的に林業へ。木を育て、次の世代につなぐ山づくりに取り組む自伐型林業者。



自伐型林業者
小倉 丈一郎さん

新潟県出身。農機具メーカー勤務を経て、一次産業への憧れから林業の道へ。林業事業体で経験を積み、関田さんのもとの林業を学ぶ。独立して4年目の自伐型林業者。

関田さんは50代頃から親が管理していた山に入るようになり、山で作業するうちに面白さを感じ、会社を定年退職してからは本格的に林業に取り組むようになりました。

現在は2トトラックでの木材の搬出や重機を使った作業道づくりを中心に山の仕事を続けています。

関田さんは「間伐して、いい木を残す。光が入れば残した木が成長する。5年後、10年後に良くなっている山をつくるのが大切。」と語り、長く木材を生産できる山づくりと向き合っています。

また、「けがをしないことが一番。あと少しだからと無理をすると、けがをしたり、ミスをしたりする。」と余裕をもって作業し、“安全第一”を心掛けています。

そんな関田さんのもとの林業を学んだのが小倉さんです。木材市場で働いていた際に関田さんと出会い、林業について話す中で意見が合うことが多く、実際の現場で学びたいと思い、小倉さんから一緒に仕事をさせていただきたいとお願いしました。

関田さんから教わったのは、技術だけではなくありません。「自分のできる範囲でいいから、人に対して親切にしろ。そして良心的で親切な山づくりをして、山林所有者との信頼関係を築きなさい。」など、林業を続ける上で大切な姿勢も教わりました。

小倉さんは伊賀・名張の林家や山林所有者から仕事を受け、林業に取り組んでいます。その山に合った仕立て方で作業をすることに、林業の面白さを感じています。

「山の見方は三者三様。関田さんの意見を参考にしながら、自分自身の山の見方を探しています。」と関田さんから仕事を任されるようになった今、以前よりも仕事への責任感も増している様子でした。

関田さんから受け取った技術や考え方を土台に、自分なりの林業を築いています。

そして関田さんも、「小倉は私にとって、なくてはならない存在。これからも地域で活躍できる林業者として、真面目に、親切に山と向き合ってもらいたい。」と、小倉さんとの出会いを大切にしています。

技術を教える、教わるという関係を超えて、山と向き合う2人。その姿から、地域に根ざした担い手が育っていく過程が見えます。

伊賀市の森林は、これからの武器になる



伊賀市地域力創造アドバイザー
(林業施策)
中嶋 健造さん

高知県出身。全国各地で自伐型林業の普及や担い手育成、地域づくりに取り組む。NPO 法人自伐型林業推進協会代表理事。令和8年4月から伊賀市地域力創造アドバイザー（林業施策）を務める。

全国各地の森林・林業の現場を見てきた中嶋さんから見た、伊賀市の森林の可能性とは

「伊賀市は山とまちが近く、林業の現場へもアクセスしやすいです。また、標高がそれほど高くなく、険しい山が少ないため、林業に取り組みやすい環境です。これまで森林整備が十分に進められてこなかったことは課題ですが、見方を変えれば、未整備の森林が多く残っていることは、これからの武器になります。」

中嶋さんが提唱する自伐型林業は、木を育てながら適切に伐採する「多間伐施業」です。

「森林環境を良好に維持・再生させながら、長く生産できる森に変えていく担い手を育てていくことが大切です。これまでの林業は一部の関係者だけが関わる場合が多いのですが、伊賀では、行政、森林組合、森林所有者、地域、これら森林関係者全員が協働する形で推進していきます。この全方位型で林業の担い手を増やしていければ、全国的にも先進的なモデルになり得ます。」

さらに、林業を地域の仕事として捉えることにも可能性があるといいます。「林業を入口に、農業や観光、福祉などと組み合わせた『兼業型の働き方』が広がれば、担い手が増え、地域が元気になります。自伐型林業は、未経験からでも技術を身につけられる仕事です。ぜひ多くの人に山に入ってもらいたいですね。」



お知らせ

令和8年度（第80回）芭蕉祭を開催します



松尾芭蕉の業績を称え、遺徳を偲ぶ芭蕉祭は、芭蕉さんの命日10月12日に行っていて、翁を慕う人々によって今日まで受け継がれてきました。昭和22年に始まった芭蕉祭は、今年で記念すべき第80回を迎えます。80回にわたり継続してきたことへの感謝と誇りを共有するとともに、今後も多くの人に愛着を持っていただけるよう執り行います。なお、今回は式典終了後、参加者による献花を行います。

式典内容、全国俳句大会や各種団体の協賛行事などを紹介します。ぜひご参加ください。
※内容の変更や中止する場合は、市と芭蕉翁顕彰会のホームページでお知らせします。

芭蕉祭 式典

【と き】 10月12日(月・祝)

◆墓前式典

午前8時30分～
愛染院 故郷塚

◆献花・献菓

午前9時10分～
忍者市（上野市）駅前 芭蕉翁銅像

◆芭蕉祭式典

午前9時25分～11時30分
上野公園俳聖殿前

- 祭詞
- 文部科学大臣賞授賞
- 合唱「市歌」・斉唱「芭蕉さん」ほか
- 献詠俳句特選者授賞 など



芭蕉祭記念講演会—歌枕俳枕講座—

【と き】 10月11日(日)

午後1時30分～（開場：午後1時～）

【ところ】 ハイトピア伊賀 5階多目的大研修室

【定 員】 120人 ※申込不要

【内 容】

- 記念講演「深川の芭蕉」
講師：佐藤 勝明さん、小林 孔さん

全国俳句大会

当季雑詠 1人3句以内（未発表句に限る。）

【と き】 10月12日(月・祝)

午後1時30分～4時（開場：午後1時～）

※投句受付

- 俳聖殿前式典会場：午前9時30分～11時
- ハイトピア伊賀5階：正午～午後0時45分

【ところ】 ハイトピア伊賀 5階多目的大研修室

芭蕉月間の行事

◆芭蕉祭俳句列車（伊賀鉄道）

【内容・とき】

- ポスター展示
9月25日(金)～10月14日(水)

- 児童・生徒の部特選句展示
10月16日(金)～11月4日(水)

◆芭蕉祭ポスター原画展

【とき・ところ】

- 10月2日(金)～13日(火) 午前9時～午後5時
ハイトピア伊賀 5階ギャラリー
- 10月23日(金)～11月2日(月) 午前9時～午後4時30分
本庁舎 1階市民スペース

◆芭蕉祭短冊展（児童・生徒の部特選句）

【とき・ところ】

- 10月14日(水)～21日(水) 午前9時～午後5時
ハイトピア伊賀 5階ギャラリー
- 11月4日(水)～12日(木) 午前9時～午後4時30分
本庁舎 1階市民スペース

◆第22回「芭蕉翁献詠絵手紙展」

【と き】 10月5日(月)～11月27日(金)
午前9時～午後4時30分

【ところ】 本庁舎 4階ミニギャラリー

芭蕉翁記念館特別展「芭蕉顕彰の歩み」

芭蕉が残した作品は、芭蕉没後も各地で門人らによって大切にされ、後世に伝えられてきました。地域や時代を越えて受け継がれてきた芭蕉顕彰の歩みを、特別展示作品を含む多彩な資料を通して紹介します。

【と き】 12月23日(水)まで

午前8時30分～午後5時
（入館は午後4時30分まで）

【ところ】 芭蕉翁記念館

◆展示説明会「みんなの憧れ芭蕉さん」

【と き】 11月1日(日)

①午前10時30分～ ②午後2時30分～

【ところ】 芭蕉翁記念館 展示室

【内 容】 学芸員が展示資料をもとに、芭蕉さんの功績を伝えてきた人々について解説します。

【対象者】 中学生以上

※事前申込不要・参加費無料（入館料は必要です。）



東藤画・芭蕉賛「たび人と」 謡前書付句画賛
（大垣市 奥の細道むすびの地記念館蔵）

協賛行事

◆ふるさと連句会

【と き】 10月12日(月・祝) 午後1時30分～4時

【ところ】 ハイトピア伊賀 5階学習室1（A）

【料 金】 500円

◆第80回芭蕉祭協賛「切手展」

【と き】

- 10月11日(日) 午前10時～午後3時
- 10月12日(月・祝) 午前10時～午後4時

【ところ】 ハイトピア伊賀 5階ギャラリー

◆芭蕉祭協賛茶会

【と き】 10月12日(月・祝) 午前9時～午後3時

【ところ】 芭蕉翁記念館 和室

【料 金】 1,000円 ※瓢竹会会員は無料

◆芭蕉祭野点「お茶席」

【と き】 10月12日(月・祝) 午前10時～午後3時
※生菓子が売り切れ次第終了

【ところ】 上野公園内戦没者慰霊塔前広場

【料 金】 お茶席一服500円

◆くみひも販売

【と き】 10月12日(月・祝)
午前11時30分～午後1時30分

【ところ】 上野公園レストハウス前

芭蕉祭ロゴマークが決定しました

芭蕉祭への親しみや愛着を深め、より良い未来へつなげていくため、人々に愛されるロゴマークを募集しました。

【最優秀賞作品】



【製作者】 中野 慎介さん（千葉県在住）

【ロゴマークに込めた思い】

芭蕉の「静けさ」や「旅」の精神を、伊賀の自然と文化を象徴する山並みと笠のモチーフで表現しました。円形は人と地域のつながりや祭りの広がりを意味し、シンプルで親しみやすいデザインに仕上げています。世代を超えて愛され、伊賀市の魅力を発信する象徴となることを願っています。

問 ○(公財) 芭蕉翁顕彰会 ☎ 21-4081
○文化振興課 ☎ 41-0400 FAX 22-9694





市の人事行政の運営状況をお知らせします



図 人事課 ☎ 22-9605 FAX 22-9742

人事行政の運営における公平性・透明性を高めるため、「伊賀市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例」に基づき、市職員の任免や給与などの状況をお知らせします。詳しくは、市ホームページをご覧ください。

職員給与の状況（令和8年4月1日現在）

◎平均給料月額、平均年齢の状況

区 分	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢
一般行政職	353,200 円	455,000 円	45.6 歳
技能労務職	293,789 円	356,408 円	52.8 歳

※給与は、給料と、期末手当、勤勉手当、時間外勤務手当などの諸手当を含んだもの

◎初任給の状況

区 分	給料月額
一般行政職	大学卒 232,000 円
	高校卒 200,300 円

◎経歴年数別、学歴別平均給料月額の状況

区 分	経歴年数 10 年	経歴年数 15 年	経歴年数 20 年
一般行政職	大学卒 289,416 円	316,492 円	367,747 円
	高校卒 264,800 円	291,622 円	348,125 円

職員数の状況

◎部門別の職員数（各年4月1日現在の常勤職員 単位：人）

区 分	職員数 (R7)	職員数 (R8)	増減
一般行政部門	議 会	7	7
	総務・企画	183	193
	税 務	36	35
	労 働	0	0
	農林水産	32	32
	商 工	16	17
	土 木	58	59
	民 生	225	226
	衛 生	60	57
	小 計	617	626
特別行政部門	教 育	84	79
	消 防	177	179
	小 計	261	258
公営企業等 会計部門	病 院	283	284
	水 道	27	27
	下水道	13	13
	その他	30	29
	小 計	353	353
合 計	1,231	1,237	6

◎退職者数（令和7年度 単位：人）

定年退職	0	※再任用職員を除く。
勸奨退職	1	※当該年度は定年引上げ制度
普通退職等	53	に伴う経過措置期間中のため、定年退職はありません。
合 計	54	

特別職の給料など（令和8年4月1日現在）

区 分	給料（報酬）月額	期末手当
市 長	924,000 円	期末手当 3.6 月分
副市長	716,000 円	
上下水道事業 管理者	570,000 円	
教育長	620,000 円	期末手当 4.0 月分
議 長	530,000 円	期末手当 3.3 月分
副議長	467,000 円	
議 員	423,000 円	

※期末手当基礎額の報酬月額は、20%の加算措置があります。

◎新規採用者数

（令和7年4月2日～令和8年4月1日 単位：人）			
採用区分	職 種	採用者数	うち女性
競争試験	事務職	19	13
	土木技術職	2	1
	上下水道事業技術職	1	0
	保育士	5	5
	消防職	4	0
	消防職(救急救命士)	1	0
	小 計	32	19
選 考	医師	8	1
	医師（任期付）	1	0
	管理栄養士	1	1
	作業療法士	1	1
	看護師	9	8
	看護師（任期付）	1	1
	介護福祉士	2	1
	社会福祉士	1	1
	事務職（市民病院）	1	0
	事務職（任期付）	7	6
	司書（任期付）	1	1
	保育士（任期付）	1	1
	小 計	34	22
合 計		66	41

※女性活躍推進法の趣旨に基づき、女性の人数を掲載しています。



大切な水資源を守るために 大山田産廃処分場の設置を禁止しました



図 水道施設課 ☎ 24-3980 FAX 24-0006

現在、服部川上流部に位置する伊賀市下阿波地区に、大阪府の事業者による産業廃棄物最終処分場の建設が計画されています。計画では、廃プラスチック類などを埋め立てる「安定型処分場」で、埋立容量は約 25 万 1,000 立方メートルとされています。

この問題は、特定地域の問題ではなく、将来の伊賀市の自然・環境に大きく関わる全市民共通の課題です。

市では、専門的な知見や多様な意見を求めるため、令和6年10月に第三者委員会である「伊賀市水道水源保護審議会」に諮問を行いました。



伊賀市水道水源保護審議会とは

水源の水質保全の観点から、専門的・多角的に審議を行う、学識経験者や地域代表者など 11 人の委員で構成する第三者委員会のことです。審議会は、諮問を受けた課題について議論を行い、最終的な意見を答申として市長に提出します。

審議会から答申を受け取りました

審議会では、令和6年10月から令和8年5月にかけて、計 8 回の協議を行い、令和8年7月28日に市長に答申書を提出しました。



答申の内容

【結 論】

伊賀市水道水源保護条例に基づく「規制対象事業場」に認定すべき

※市長は、水道水源に影響を及ぼすおそれのある施設であると判断した場合、水道水源保護審議会の意見を聴取した上で、「規制対象事業場」に認定することができます。認定された施設の建設工事は禁止されます。違反した場合は罰則の対象となります。

【主な指摘事項】

- ①水源への影響リスクを十分に排除できない。
- ②事業者の住民対話の機会が十分でなく、安心につながる前提が整っていない。

【市の判断】 上記の答申を受け、市民の生命・健康を守る「安全な水の安定供給」という公益は最優先であるとの考えのもと、「規制対象事業場」に認定し設置を禁止しました。

貴重な水源と市民のいのちと健康を守るために全力で行動します！



住民説明会で市の方針を伝える市長（8月26日大山田福祉センターで）

市民の皆さんへ

8月26日、大山田地域（下阿波）での産業廃棄物最終処分場の計画につきまして、伊賀市水道水源保護条例に基づき、設置を禁止する「規制対象事業場」に認定するという重大な判断を下しました。

この決断に至るまでには、令和6年10月以降、専門的な立場から慎重な検討を重ねてくださった伊賀市水道水源保護審議会より、今年7月に最終答申をいただきました。そこでは、服部川上流部の貴重な水道水源が「汚濁するおそれ」が否定できないとして、「規制対象事業場とすべき」との明確な結論が示されました。

さらに、大山田地域や服部川流域にお住まいの皆さん、そして「伊賀米ブランド」を守り育ててくださる農業者の皆さんをはじめ、6,927 筆にのぼる切実な反対署名が提出されました。私は、この市民一人ひとりの皆さんからの熱い思いを、重く、深く受け止めました。

水道水源保護条例の権限を持つ伊賀市長として、かけがえのない私たちの水と命を守り抜き、この誇りある地域を未来へ引き継いでいくこと。これこそが、いま果たすべき最も重要な責務であると確信しています。

これから先、さまざまな困難が立ちはだかるかもしれません。しかし、「すべての人と地域が輝く伊賀市」の未来のため、そして何より大切な市民の皆さんのいのちと暮らしを守るため、私は市民の皆さんとともに、いかなる困難も乗り越えていく覚悟です。

伊賀市長 稲森 稔尚



お知らせ

市展「いが」に出品しませんか



申問 ○文化振興課 ☎ 41-0400 FAX 22-9694 ○(公財)伊賀市文化都市協会 ☎ 22-0511 FAX 22-0512

市民の皆さんに造形芸術の創作意欲を高めていただくとともに、市民文化の向上に貢献するため、伊賀市民美術展覧会（市展「いが」）を開催します。

【申込方法】 申込フォームまたは出品申込書を郵送・持参で申込先まで
※市展「いが」は事前申込制です。作品搬入日は別日となりますのでご注意ください。
※募集要項で作品規定を確認してください。

【申込期間】 令和9年1月5日(火)～2月15日(月)
午前9時～午後5時
※持参の場合、1月26日(火)を除く。

【申込先】 (公財)伊賀市文化都市協会（西明寺 3240-2）

【出品者資格】 平成23年4月1日以前に生まれ、市内在住・在勤・在学・出身の人

【出品料】
1部門 1,000円（高校生または18歳以下無料）
※出品料は、高校生の作品出展支援や、若年層向けのワークショップ開催などに活用します。
※作品搬入時に現金でお支払いください。
※選外の場合でも返金はしません。

【募集要項・出品申込書 配布場所】

- 文化振興課（本庁舎4階）
- 生涯学習課（ハイトピア伊賀5階）
- 本庁舎 1階総合受付
- 各支所・各地区市民センター
- 伊賀市中央図書館
- 伊賀市文化会館
- 青山ホール

※募集要項は、市ホームページからもダウンロードできます。

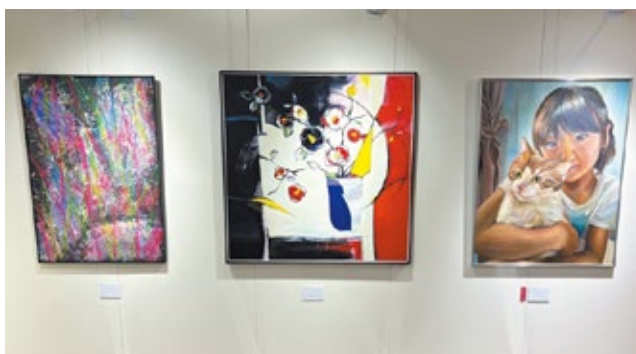
市展「いが」スケジュール

【と き】
令和9年3月18日(木)～22日(月・休)
午前9時～午後5時 ※最終日は午後4時まで

【ところ】
伊賀市文化会館

【部 門】
絵画・彫塑工芸・写真・書

【展示作品】
○公募作品のうち、審査の結果、入賞または入選した作品
○無鑑査の作品
○審査員（現・旧）の作品
○運営委員（現・旧）の作品



	と き
作品搬入	令和9年3月2日(火) 午後1時～7時
審査会（公開）	令和9年3月4日(木) 午後1時～（全部門）
表彰式	令和9年3月22日(月・休) 午後1時30分～
作品講評会（参加自由）	令和9年3月22日(月・休) 午後4時～

※すべて伊賀市文化会館で行います。

※会期中は審査員による作品講評を映像で会場内に放映します。



お知らせ

上野天神祭のダンジリ行事を見に行こう！



図 ○上野天神祭地域振興実行委員会（上野商工会議所内） ☎ 21-0527
○(一社)伊賀上野観光協会 ☎ 26-7788

【と き】 10月23日(金)～25日(日)

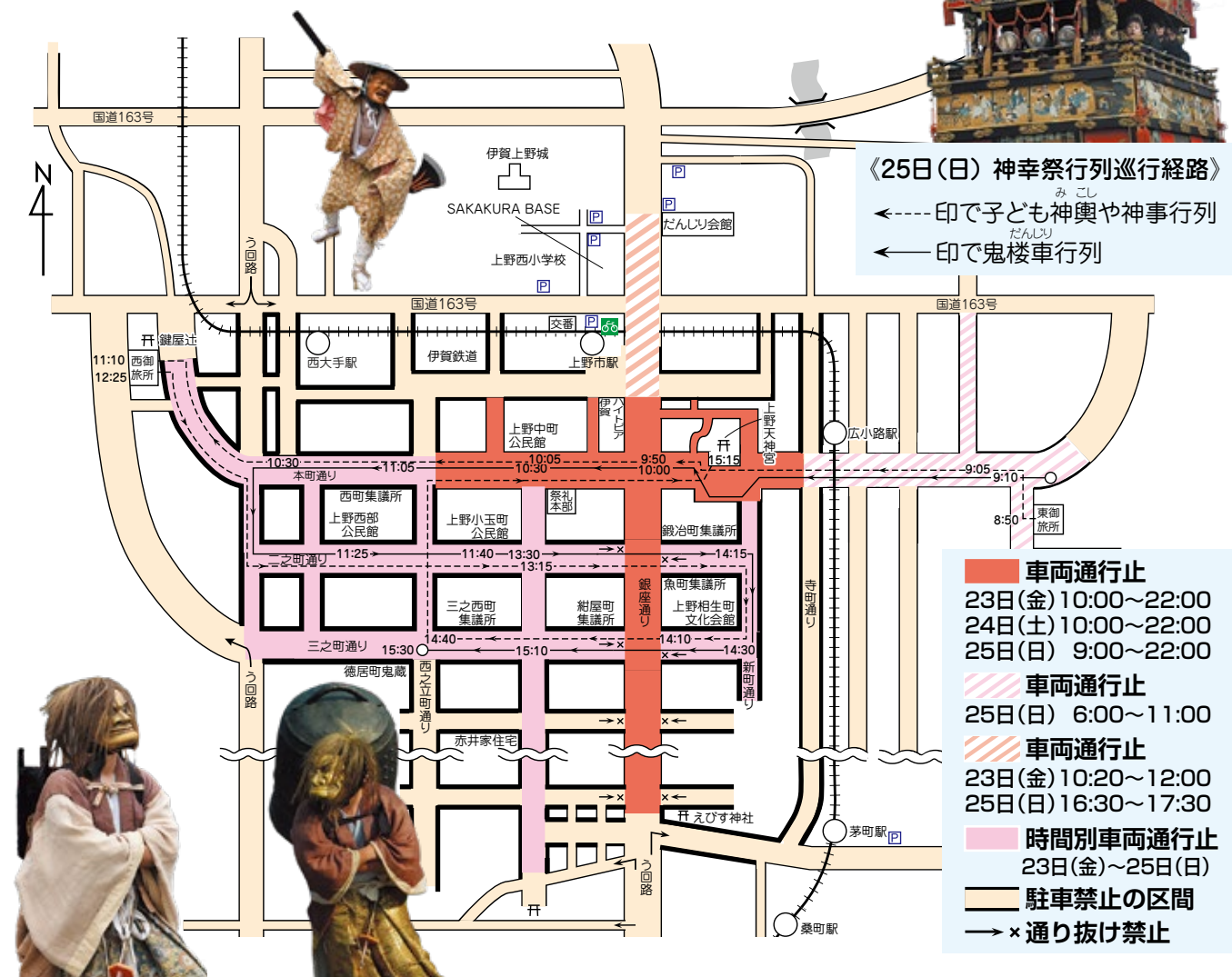
※各行事の時間や場所、駐車場情報などは上野天神祭公式ホームページをご確認ください。

400年以上の歴史を持つ「上野天神祭」。1660年に再興されて以来、伊賀上野城下町で現在まで大切に受け継がれてきました。

全国的にも珍しい百体以上の鬼が並ぶ「鬼行列」と、美しいお囃子とともに進む絢爛豪華な9基の「だんじり」が並ぶ上野天神祭のダンジリ行事は2016年にユネスコ無形文化遺産「山・鉾・屋台行事」に登録されました。

今年はユネスコ無形文化遺産への登録から10周年となる記念すべき年です。世界に認められた伊賀の伝統を、改めて感じてみませんか。

交通規制のお知らせ



※会場付近の道路は大変混雑します。う回や公共交通機関の利用にご協力ください。

※周辺商業施設への無断駐車・路上駐車は、法令違反となる場合がありますので、お断りします。

※コミュニティバス「にんまる」・三重交通バスは一部う回運転または運休となります。詳しくは市ホームページをご確認ください。



バスう回・運休情報



ひとり親家庭を応援します



☎ こどもの育ち支援課 ☎ 22-9609 FAX 22-9646

市内在住の20歳未満のこどもを養育しているひとり親家庭の母または父が対象です。
※その他の要件もありますので、必ず事前にご相談ください。

◆高等職業訓練促進給付金事業

生活を安定させるための資格を取得するため、養成機関で6月以上のカリキュラムを修業し、資格取得が見込まれる人に支給します。

【対象資格】

- 看護師（准看護師） ○保育士 ○介護福祉士
- 作業療法士 ○理学療法士 ○歯科衛生士
- 美容師 ○社会福祉士 ○製菓衛生師 ○調理師
- シスコシステムズ認定資格 ○LPI認定資格 など

【支給期間】

修業する期間の全期間
※上限は4年間（准看護師から看護師の養成機関に引き続き進学する場合は5年間）

【支給額】

- 市民税非課税世帯の場合：10万円／月（最終年度のみ14万円／月）
- 市民税課税世帯の場合：7万500円／月（最終年度のみ11万500円／月）

◆自立支援教育訓練給付金支給事業

厚生労働大臣の指定する教育訓練講座を受講し、修了した場合に支給します。

【対象講座】

雇用保険制度の教育訓練給付の指定教育訓練講座

【支給額】

- 対象講座の受講料の60%
- ※雇用保険法の規定による教育訓練給付金を差し引いた額を支給
- ※上限20万円（専門実践教育訓練講座の場合は修学年数×上限40万円）
- ※支給額が1万2,000円を超えない場合は対象外

◆母子・父子・寡婦福祉資金貸付事業

母子・父子・寡婦家庭の経済的自立を促し、こどもの福祉を充実させるため、低利または無利子で各種資金（就業資金、修学資金など）の貸付が受けられます。



障害基礎年金をご存じですか



☎ ○保険年金課 ☎ 22-9659 FAX 26-0151
○津年金事務所 ☎ 059-228-9112

障害基礎年金は、国民年金加入中や20歳になる前に病気やけがなどで、法令に定められている障害等級表の1級または2級に該当しているときに受給できる年金です。（身体障害者手帳の等級とは異なります。）

【受給要件】

次の①から③のすべての要件を満たしているときは、障害基礎年金が支給されます。

①障害の原因となった病気やけがの初診日が次のいずれかの間にあること

- 国民年金加入期間
- 20歳前または日本国内に住んでいる60歳以上65歳未満で年金制度に加入していない期間

※老齢基礎年金を繰り上げて受給している人は除く。

②障害の状態が、障害認定日*（障害認定日以後に20歳に達したときは、20歳に達した日）に、障害等級表に定める1級または2級に該当していること

*障害認定日…病気やけがにより初めて医師などの診療を受けた日から1年6カ月を過ぎた日、または1年6カ月以内にその病気やけがが治った（症状が固定した）場合はその日

③初診日の前日に、初診日がある月の前々月までの被保険者期間で、国民年金の保険料納付済期間（厚生年金保険の被保険者期間、共済組合の組合員期間を含む。）と保険料免除期間をあわせた期間が3分の2以上あること

※③の特例として、初診日において65歳未満であれば、初診日の前日において、初診日がある月の前々月までの直近1年間に保険料の未納がなければよいことになっています。

※20歳前の年金制度に加入していない期間に初診日がある場合は、③の要件は不要です。



インフルエンザ・コロナウイルスの予防接種を受けましょう

☎ 健康推進課 ☎ 22-9653 FAX 22-9666

乳幼児や65歳以上の高齢者、慢性の持病がある人は、感染すると重症化しやすいので、流行する前に予防接種を受けましょう。※接種開始日が変更になる可能性があります。詳しくは市ホームページをご覧ください。

	乳幼児インフルエンザ ワクチン	高齢者インフルエンザ ワクチン	高齢者コロナワクチン
対象期間	10月15日(木)～令和9年1月31日(日)		10月1日(木)～令和9年1月31日(日)
対象者	接種日当日に市内に住民登録がある令和2年4月2日以降に生まれた人		接種日当日に市内に住民登録がある①または②に当てはまる人 ①65歳以上の人 ②60歳以上65歳未満で、心臓・腎臓・呼吸器の機能不全またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能の障がいや身体障害者手帳1級相当の人
持ち物	マイナ保険証または資格確認証・母子健康手帳		マイナ保険証または資格確認証
接種方法	市内 医療機関	予防接種を希望する医療機関に直接予約してください。 【助成額】 1回1,500円 ※医療機関窓口で費用から助成額を差し引きます。（申請不要） ※対象期間中に2回まで助成	予防接種を希望する医療機関に直接予約してください。 【自己負担額】 インフルエンザ：1,500円 コロナワクチン：4,000円 ※自己負担額は市の助成金（インフルエンザ：2,856円 コロナワクチン：11,600円）を差し引いた金額です。医療機関窓口で自己負担額をお支払いください。（申請不要） ※対象期間中に1回のみ助成
	市外 医療機関	市外で予防接種を受けた場合、申請により接種費用と下記の金額のいずれか低い方の額を振り込みます。 【助成額】 1回1,500円（2回まで）	接種する日の2週間前までに健康推進課にご連絡ください。 ※市外の医療機関で接種する場合は、予診票をお渡しします。 ※県外で接種を希望する場合は、医療機関宛ての依頼書を発行します。申請により、接種費用から自己負担額を除いた額と上限額（インフルエンザ：2,856円 コロナワクチン：11,600円）のいずれか低い方の額を振り込みます。県外で接種を希望する場合は右の二次元コードから申請してください。
【申請に必要なもの】 ○予防接種を受けたことがわかる領収書 ○通帳（振込先が分かるもの）			
【申請書提出期限】 令和9年2月26日(金)			

◆市内実施医療機関（50音順）

医療機関名	インフルエンザ 乳幼児	高齢者	高齢者 コロナ	医療機関名	インフルエンザ 乳幼児	高齢者	高齢者 コロナ	医療機関名	インフルエンザ 乳幼児	高齢者	高齢者 コロナ
あきやま腎泌尿器科		○	○	河合診療所	○	○	○	中産婦人科緑ヶ丘クリニック	○	○	○
アクアクリニック伊賀	○	○	○	紀平医院		○	○	梨ノ木診療所	○	○	○
浅野整形外科内科	○	○	○	黒田クリニック	○	○	○	ぬのめ眼科		○	
あずまクリニック		○	○	佐々木内科		○	○	はくほうクリニック		○	
あずま診療所		○	○	佐那具医院		○	○	ひらい小児科クリニック	○	○	○
阿波診療所	○	○	○	嶋地医院		○	○	まちしクリニック	○	○	○
伊賀おおえ耳鼻咽喉科		○		しみずハートクリニック		○	○	松本胃腸内科		○	○
伊藤医院		○	○	しもむら整形外科		○		宮本医院		○	○
いまむら整形外科		○		城医院	○	○	○	森川病院	○	○	○
上野総合市民病院		○	○	滝井医院	○	○	○	森田クリニック		○	○
馬岡医院		○		竹沢医院		○	○	ゆめが丘クリニック	○	○	○
おおすみ整形外科		○	○	たけざわクリニック		○	○	ゆめこどもクリニック伊賀	○		
おおのクリニック		○		竹代クリニック		○	○	吉村クリニック		○	○
岡波総合病院	○	○	○	たにぐち皮フ科		○					
亀田クリニック		○		谷本整形		○					



伊賀市消防フェスタを開催します



☎ 消防総務課 ☎ 24-9100 FAX 24-9111

消防車両の展示をはじめ、消防車乗車体験や放水体験など、楽しめる企画が盛りだくさんです。

当日は特別ゲストとして伊賀市観光大使の椿りょうさんもやってきます！おいしいグルメが楽しめるキッチンカーも出店します。

この機会に消防の仕事を身近に感じてみませんか。皆様のご来場を心よりお待ちしております。



過去の消防フェスタの様子



※人気の体験など、一部のブースでは整理券を配布します。配布時間など詳しくは、市ホームページをご確認の上、ご来場ください。

【と き】 11月7日(土) 午前9時～午後3時

【ところ】 消防本部

【料 金】 一部有料



伊賀市消防団総合訓練を開催します



☎ 地域防災課 ☎ 24-9115 FAX 24-9111

地域とのつながりを深めながら、みんなで防災力を向上するために消防団総合訓練を行います。

◆主会場（花垣地区）

○上野西分団・上野南分団

【と き】 11月15日(日) 午前9時～正午

【ところ】 花垣地区スポーツレクリエーション広場
およびその周辺（雨天決行）

◆地区会場

○上野中分団

【と き】 11月15日(日) 午前9時～正午

【ところ】 伊賀市民体育館およびその周辺（雨天決行）

○上野北分団

【と き】 11月15日(日) 午前9時～正午

【ところ】 三訪小学校グラウンド（雨天時：同体育館）

○上野東分団

【と き】 11月15日(日) 午前9時～11時30分

【ところ】 府中小学校グラウンド（雨天時：同体育館）

○伊賀分団

【と き】 11月15日(日) 午前9時～正午

【ところ】 柘植小学校グラウンド（雨天時：同体育館）

○島ヶ原分団（島ヶ原地域防災訓練と同時開催）

【と き】 11月29日(日) 午前9時～正午

【ところ】 島ヶ原中学校体育館（雨天決行）

○阿山分団（伊賀市総合防災訓練と同時開催）

【と き】 11月1日(日) 午前7時30分～11時45分

【ところ】

阿山中学校グラウンドおよび同体育館（雨天決行）

○大山田分団

【と き】 11月15日(日) 午前9時～正午

【ところ】 せせらぎ公園グラウンド
（雨天時：午前10時～ 大山田小学校体育館）

○青山分団

【と き】 11月15日(日) 午前9時～11時45分

【ところ】

青山中学校グラウンド

（雨天時：同体育館）



行政情報番組「ウィークリー伊賀市」 こどもアナウンサー大活躍！



☎ 秘書広報課 ☎ 22-9636 FAX 24-7900

行政情報番組「ウィークリー伊賀市」では、こどもたちが市政に関心を持ち、親しまれる番組になることを目的に、こどもアナウンサーの企画を実施しました。

8月3日(月)から23日(日)の放送期間に、6人のこどもアナウンサーが市政の情報を明るく伝えてくれました。

ウィークリー伊賀市では、皆さんに分かりやすく市政の情報をお届けするため、今後もさまざまな企画を行いますので、ぜひご覧ください。

番組の感想や「こんな企画をしてほしい!」といった意見などを募集しています。ご意見・感想フォームから回答をお願いします。

ウィークリー伊賀市について詳しくは、市ホームページをご覧ください。



ご意見・感想フォーム



「広報いが」で新年の抱負を発表しませんか



☎ 秘書広報課 ☎ 22-9636 FAX 24-7900 ✉ hisho@city.iga.lg.jp

◆未（ひつじ）年生まれの皆さんを募集します

「広報いが」では、毎年1月号で年男・年女の皆さんの新年の抱負を紹介しています。今年も、令和9年1月号で抱負を発表していただける人を募集します。

家族やパートナー、友人同士などの複数人でも応募できます。節目の年を迎える皆様のご応募をお待ちしています。

【対象者】 市内在住の未（ひつじ）年生まれの人

○2015（平成27）年生まれ

○2003（平成15）年生まれ

○1991（平成3）年生まれ

○1979（昭和54）年生まれ

○1967（昭和42）年生まれ

○1955（昭和30）年生まれ

○1943（昭和18）年生まれ

○1931（昭和6）年生まれ

【申込方法】 住所・氏名・生年月日・電話番号を上記まで。申込フォームからも申し込みできます。



申込フォーム

※申込多数の場合は、年齢、住所などを考慮して選考することがあります。

※後日、取材と写真撮影をさせていただきます。

【申込期限】 10月30日(金)



▲令和8年1月号



水道基本料金を 2カ月間半額にします



図 経営企画課 ☎ 24-0003 FAX 24-0006

物価高騰の影響による負担を軽減するため、水道料金のうち基本料金を2カ月間半額にします。

※手続きは不要です。

【対象となる検針月】

10・11月検針分（11・12月請求分）

【対象者】

水道利用者（官公署・臨時用は除く。）

【口径別減額一覧表（税込）】

水道メーター 口径	1カ月当たりの 基本料金減額分	2カ月当たりの 基本料金減額分
13mm	330円	660円
20mm	495円	990円
25mm	1,100円	2,200円

※検針票には基本料金を半額にする前の料金を表示していますが、請求金額は減額分を引いた金額となります。



霊山中学校が 開校します



図 教育総務課 ☎ 22-9644 FAX 22-9647

市では、令和7年度から柘植中学校区と霊峰中学校区のまちづくり協議会代表、保護者代表、小中学校長で構成する「いがまち地区中学校区再編検討協議会」において、開校に向けて諸課題を検討してきました。その結果、令和9年4月から「伊賀市立霊山中学校」が開校することになりました。

【ところ】 新堂 160

【校章デザイン】



デザイン作成者：東京都世田谷区
美濃田 学さん（柘植中学校出身）



第67回伊賀地区駅伝競走大会の参加チームを 募集します



申・図 スポーツ振興課 ☎ 22-9635 FAX 22-9694

◆力を合わせてたすきをつなごう

【と き】 令和9年1月24日(日)

○開会式：午前8時30分～

（監督・1区選手・1区付添いのみ）

○スタート：午前10時

○閉会式：午後0時30分～（予定）（監督・全選手）

※午後0時15分～お楽しみ抽選会

【コース】 ゆめが丘地内周回コース

【区 間】 全部門共通 5区間 15.1km

【部 門】 男子の部／女子の部／オープンの部

【チーム編成】

監督1人／選手5人以上8人以内／係員1人

【参加資格】

○男子の部：伊賀地区に在住・通勤・通学する中学生以上の男子で構成したチーム。なお、女子を選手に1人のみ充てることができる。

○女子の部：伊賀地区に在住・通勤・通学する中学生以上の女子のみで構成したチーム。

○オープンの部：伊賀地区に在住・通勤・通学する中

学生以上の人を1人以上含み、構成したチーム（男女不問）。ただし、伊賀城和定住自立圏に在住・通勤・通学する中学生以上の人のみで構成したチームでも出場できる。

※詳しくは市ホームページをご覧ください。

【料 金】

1チームにつき1万円

選手が中学生のみの場合は1チームにつき5,000円

【参加方法】

参加申込書・永年出場者表彰候補推薦書をすべてデータ（PDF不可）で提出し、料金は指定口座に振り込んでください。（振込口座は市ホームページに掲載）

※申込書は市ホームページからダウンロードしてください。

【申込期限】

12月10日(木)

午後5時



緊急通報システムをご利用ください



申・図 介護高齢福祉課 ☎ 22-9634 FAX 26-3950

緊急通報システムは、1人暮らしの高齢者が体の異常を感じた時に緊急ボタンを押すと受信センターにつながり、状況に応じて、家族や協力員に連絡したり、救急車の出動を要請するシステムです。

受信センターでは、毎月1回、利用者へ電話をかけて健康状態を確認するほか、看護師などが24時間体制で利用者からの健康相談に応じます。

なお、ペンダント型送信機を常に身につけることで、風呂や庭などでの緊急時にも通報できます。

また、一定期間動きがないなど、生活リズムに異常がある場合には、人感センサーが感知し、自動的に受信センターに通報します。

【対象者】

65歳以上で、次に当てはまる人

○急な発作など、緊急時に不安のある1人暮らしの人
○同居者が障がいなどで緊急時に対応できない世帯の人（日中のみ1人の場合は対象外）

【料 金】 1,000円／月

※生活保護世帯、市民税非課税世帯、介護保険料の所得段階が第1段階から第3段階のみで構成される世帯の人は無料です。

【申込方法】 申請書を郵送または持参で、上記または各支所まで提出

※申請書は市ホームページでダウンロードできます。

◆使用機器



緊急通報装置本体
（固定電話回線用）



緊急通報装置本体
（携帯電話回線用）



ペンダント型送信機



人感センサー

伊賀市役所 本庁舎 10月のアート情報

本庁舎で下記の展示を行っています

◆4階市民ミニギャラリー

○第22回「芭蕉翁献詠絵手紙展」



過去の展示会の様子

◆1階玄関横

○伊賀市寄贈作品展示

日本画屏風 六曲一隻 「伊賀上野天神祭行列図」
飯田 淳子



上野天神祭だんじり模型（新町風） 福中 信一



○いけばな（伊賀華道協会）

※都合により展示物が変わる場合があります。
※観覧時間は市役所の開庁時間に準じます。

市民ミニギャラリー展示作品募集中

図 文化振興課 ☎ 41-0400 FAX 22-9694



ジェンダー平等推進講座



◆「答えは相手の中にある」相手の成長を促すメンターの役割～部育て、子育て、地域を育てる～

この講座は、職場での部育てだけでなく、子育てや地域での人との関わりにも生かすことができます。上手なコミュニケーションのコツを見つけてみませんか。

【と き】 11月5日(木)
午前10時～11時30分

【ところ】 本庁舎 5階会議室 501

【対象者】 市内在住・在勤の人

【定 員】 40人程度

【申込方法】 申込フォーム

または氏名・住所・年代・電話番号を下記まで 申込フォーム

【申込期間】 10月7日(火)～30日(金)

申・問 男女共同参画センター

(人権政策課)

☎ 22-9632 FAX 22-9641

✉ jinken-danjo@city.iga.lg.jp

第4回おおやまだ人権大学講座 in ライトピア



【と き】 10月20日(火)
午後7時～8時30分

【ところ】 ライトピアおおやまだ ホール

【内 容】

○演題：「多様性を力に、誰もが暮らしやすい伊賀市へ」—外国にルーツのある子どもたちとともにつくる多文化共生の地域—

○講師：桃山学院大学准教授
オチャンテ 村井 ロサ メルセデスさん

【定 員】 80人程度

【申込方法】 当日までに氏名、電話番号を下記まで

申・問 ライトピアおおやまだ

☎ 47-1160 FAX 47-1162

✉ raitopia@city.iga.lg.jp

「広報いが」の点字版・録音版を発行しています

希望される場合はお問い合わせください。

問 障がい福祉課

☎ 22-9657 FAX 22-9662

✉ shougai@city.iga.lg.jp

人権啓発パネル展



◆人権政策課 人権啓発パネル展 「障がい者の人権①」

【と き】 10月1日(木)～29日(木)

【ところ】 本庁舎 3階

「女性の人権」

【と き】 10月5日(月)～16日(金)

【ところ】 西柘植地区市民センター

「部落差別(同和問題)②」

【と き】 10月5日(月)～16日(金)

【ところ】 阿山保健福祉センター

「子どもの権利①」

【と き】 10月5日(月)～16日(金)

【ところ】 青山複合施設 アオーネ

問 人権政策課

☎ 22-9683 FAX 22-9641

◆寺田市民館 「じんけん」パネル展 「障がいのある人と人権—誰もが住みよい社会をつくるために—」

【と き】 10月5日(月)～29日(木)

※開館延長日 13日(火)、20日(火)

(午後7時30分まで)

【ところ】

寺田教育集会所 第1学習室

問 寺田市民館 ☎/FAX 23-8728

◆いがまち人権パネル展 「障がい者の人権」

【と き】 10月6日(火)～22日(木)

※開館延長日

8日(木)、15日(木)、22日(木)

(午後7時30分まで)

【ところ】 いがまち人権センター

問 いがまち人権センター

☎ 45-4482 FAX 45-9130

／＼の情報をイチ早くお届け！／＼

伊賀市

LINE

公式アカウント

友だち募集中

二次元コードから友だち追加▼

LINE

QRコード

認知症カフェ



時間内の出入りは自由です。

◆いがオレンジカフェ

【と き】 10月13日(火)

午前10時～11時30分(受付時間)

【ところ】 ハイトピア伊賀

4階ミーティングルーム

【内 容】 体操や脳トレなど

問 地域包括支援センター

☎ 26-1521 FAX 24-7511

◆オレンジカフェあやま

【と き】 10月21日(水)

午前10時～11時30分(受付時間)

【ところ】 阿山保健福祉センター

1階ホール

【内 容】 笑いヨガ

問 地域包括支援センター

東部サテライト

☎ 45-1016 FAX 45-1055

じばさんまつり in いが



上野天神祭の開催に合わせて「じばさんまつり in いが」を開催します。伊賀の特産品・名品が一堂に会し、秋の風物詩を盛り上げます。

会場で物産を購入した人には伊賀市の物産が当たる「お楽しみガラポン抽選会」も行いますので、ぜひご来場ください。

【と き】

○10月24日(土) 正午～午後7時

○10月25日(日)

午前10時～午後4時30分

【ところ】

ハイトピア伊賀 多目的広場

問 伊賀市物産協会事務局

(産業政策課)

☎ 22-9669 FAX 22-9695

「芭蕉クン」をご活用ください！

「芭蕉クン」イラストが申請により自由にご利用いただけます。



文化振興課

▲詳しくはこちら ☎ 22-9621

定例応急手当講習会



◆普通救命講習Ⅰ(3時間)

【と き】 11月7日(土)

午前9時～正午

【内 容】 成人に対する心肺蘇生法、

AED 取り扱い、異物除去法、止血法

◆普通救命講習Ⅲ(3時間)

【と き】 11月17日(火)

午後1時30分～4時30分

【内 容】 乳児(1歳未満)、小児(1歳以上おおよそ16歳未満)に対する心

肺蘇生法、AED 取り扱い、異物除去法、

止血法

◆普及員講習(3日間)

【と き】 11月28日(土)・

12月5日(土)・12日(土)

午前9時～午後5時

【内 容】

職場や地域で「AED の使い方」を含む心肺蘇生法の指導を行うための指導者育成講習

【ところ】 消防本部 3階研修室

【対象者】

市内在住・在勤・在学の中学生以上

【定 員】

○普通救命講習Ⅰ・Ⅲ：各先着30人

○普及員講習：先着20人

※いずれも定員になり次第、締め切り

ます。

【申込方法】

申込フォーム・電話

※団体での申し込みは事前

に電話でご相談ください。申込フォーム

【申込期限】 講習日の1週間前まで

申・問 伊賀消防署管理課

☎ 24-9106 FAX 24-3544

こども家庭センターなんでも相談ダイヤル

妊産婦、0～18歳までのこども
ものいる家庭、こども
自身からの相談や問い
合わせに応じます。

☎ 41-0932

【受付時間】

平日 午前9時～午後5時

問 こどもの育ち支援課

☎ 22-9609 FAX 22-9646

青少年健全育成推進大会



【と き】 11月7日(土)

午後1時30分～4時30分

(受付：午後1時～)

【ところ】 ハイトピア伊賀5階

【内 容】

○輝け！いがっ子フォトコンテスト

表彰式

○影絵組「たこの足」公演

演 目：「ボン太とコンちゃん」など

対象者：市内の小中学生とその保護者

定 員：先着180人

申込方法：申込フォーム

○青少年健全育成講演会

演 題：「生成 AI って何ができるの？

～地域の子どもたちのために私たちが

できること～」

講 師：IT 中小企業診断士事務所

代表 石崎 一之進さん

定 員：先着60人程度

申込方法：申込フォーム

○青少年健全育成団体によるパネル展

示とミニゲームのスタンプラリー

【申込受付開始日】

10月13日(火) 午前9時

問 生涯学習課

☎ 22-9637 FAX 22-9692

認知症のひと家族の会「伊賀地域つどい・交流会」



【と き】 10月27日(火)

午後1時30分～4時

【ところ】

本庁舎 2階会議室 202

※認知症の人が参加する場合は、事前に連絡してください。

問 地域包括支援センター

東部サテライト

☎ 45-1016 FAX 45-1055

消費生活相談窓口

悪質商法や契約トラブルなど消費生活で困った時は、ひとりで悩まず、

消費者ホットライン ☎188

まで気軽にご相談ください。

くらしの情報

くらしに関わる催しやお知らせなどを掲載しています。最新の情報は市ホームページをご覧ください。二次元コードから詳しい情報を見ることができます。

※特に記載がない催しは無料・申込不要

イベント・募集

伊賀市総合防災訓練



市内で大地震が発生したことを想定して、市、河合地域住民自治協議会、丸柱地域まちづくり協議会による合同防災訓練を行います。詳しくは市ホームページをご覧ください。

【と き】 11月1日(日) 午前中

【ところ】 阿山中学校ほか



昨年度の訓練(避難所開設)の様子

問 防災危機対策局

☎ 22-9640 FAX 24-0444

献血のご案内

●10月29日(木)
午前9時30分～11時30分
午後1時～4時
本庁舎 1階市民スペース
※日程は変わる場合があります。

問 健康推進課

☎ 22-9653

FAX 22-9666



上野総合市民病院 外来診療担当表



ライガとライナ

問 上野総合市民病院医療事務課

☎ 24-1111 FAX 24-2268



「一人ひとりが輝く 伊賀市奨学金」再募集



6月に募集した奨学金について、申請できなかった人に案内します。市内の高校生・大学生などに、返済不要の給付型奨学金を4月以降の在学期間分に対して支給します。

【対象者】 次のすべてに当てはまる人
○本人・保護者とも市内に住所がある人（修学のため住所異動した場合を除く。）

○高等学校・専門学校・大学などに在学する人

○令和8年4月1日現在 30歳未満の人

○保護者の令和8年度住民税所得割額の合計額が1万円以下の人

【支給額】

○高等学校・高等専修学校など：7万2,000円／年

（第1学年は入学時奨学金として1万円／年を加算）

○大学・短期大学やそれに該当する専門学校など：

8万4,000円／年

【申込方法】

申請書を下記まで持参または郵送

※申請書は市ホームページからダウンロードできます。

【申込期間】 10月5日(月)～23日(金)

申・問 教育総務課

☎ 22-9644 FAX 22-9647

2等陸・海・空士の募集

平和を守り、未来を創る。自衛官を募集しています。



「人を守るというやりがい」「多種多様な職種・職域」「充実した教育による人材育成と成長」がある仕事です。

下記まで気軽にご相談ください。

【受付期間】 通年募集

【応募資格】

日本国籍を有する18歳以上33歳未満の人



自衛官
募集中

みえびくん

申・問 自衛隊三重地方協力本部

伊賀地域事務所

☎ 21-6720

お知らせ

伊賀甲賀地域就職面接会 出展企業・事業所募集



伊賀市、甲賀市で就職を希望する人を対象とした就職面接会に出展を希望する企業・事業所を募集します。

【と き】

令和9年1月28日(木)

○第1部：午前10時～正午

○第2部：午後1時30分～3時30分

【ところ】 碧水ホール

（甲賀市水口町水口5671）

【対象者】

伊賀市・甲賀市を就業場所とし、ハローワークに求人申し込みをしている、または申し込みができる企業・事業所（各市30社程度）

【申込方法】

下記までお問い合わせください。

【申込期間】

9月28日(月)～10月16日(金)

※申込多数の場合は抽選

問 ハローワーク伊賀

☎ 21-3221

農地パトロール 強化月間



地域の農地利用の確認、遊休農地の実態把握、違反転用の発生防止・早期発見のため、11月に集中的に農地をパトロールします。パトロールの際には、各地区の農業委員・農地利用最適化推進委員が農地の現況を確認するため、農地内に立ち入る場合があります。ご理解とご協力をお願いします。

問 農業委員会事務局

☎ 22-9720 FAX 22-9715

義援金受付中

お寄せいただいた義援金は、日本赤十字社を通じて、支援を必要とする方々にお届けします。

【義援金箱の設置場所】

○本庁舎 1階市民スペース

○各支所（上野支所を除く。）

問 医療福祉政策課

☎ 26-3940

FAX 22-9673



関西本線沿線 ウォーキング



◆～秋の絶景大黒山と東海道関宿街道まつり～関のYAMA 満喫ハイキング

秋の行楽シーズンに関西本線沿線にある名所を歩くウォーキングイベントを開催します。伊勢平野から伊勢湾、御嶽山を望むことができる大黒山展望台からの眺望は絶景です。関西本線の利用促進のため鉄道を利用し、ご参加ください。

※小学生以下は保護者が同伴してください。

※動きやすい服装で飲み物を持参してください。

【と き】 11月1日(日)

午前9時～11時30分頃

（受付：午前8時30分～）

※雨天決行（当日午前6時に亀山市で気象警報が発表されている場合は中止）

【コース】 JR 関駅（集合）→鈴鹿関跡（現地説明）→大黒山展望台→関宿観光駐車場（解散）→東海道関宿街道まつり（自由散策）

【定 員】 先着100人

【申込方法】

申込フォーム・電話

【申込期間】

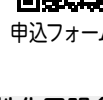
10月1日(木)～19日(月)

申・問 関西本線木津亀山間活性化同盟会

（亀山市役所）

☎ 0595-84-5066

（平日午前9時～午後5時）



防災・情報アプリ HAZARDONで配信中！

- 災害緊急情報
- 気象情報
- 地震情報
- 土砂災害情報
- 火災情報
- 行政情報
- 自治協議会・自治会からのお知らせ



問 防災危機対策局

☎ 22-9640

FAX 24-0444

✉ kikikanri@city.iga.lg.jp



伊賀流リカレントセミナー 「学びの窓」後期受講 登録者募集



リカレント教育の一環として、健康や歴史、音楽などをテーマとしたセミナー（後期4回）を開催します。

【とき・内容】

○第5回：11月10日(火)

演題：健康寿命100歳を目指して

楽しく・おいしく減塩しましょう！

講師：三重県立看護大学教授

前田 貴彦さん

○第6回：12月8日(火)

映画上映会：「破戒」

主演：間宮 祥太郎さん

○第7回：令和9年1月24日(日)

演題：石塔・石仏が語る伊賀の中世

講師：大阪大谷大学特任教授

狭川 真一さん

○第8回：令和9年2月16日(火)

「心♥ホッとに！ アフターバレン

タインコンサート」

※いずれも午後1時30分～3時

【ところ】 ハイトピア伊賀

5階多目的大研修室

※5回と7回のみ Teams による参加

も可能です。

※ヒアリンググループを設置します。車

椅子での聴講もできます。

【申込方法】

申込フォーム・電話・

ファックス

【申込期限】

10月23日(金)

申・問 生涯学習課

☎ 22-9637 FAX 22-9692



病院で働く 介護福祉士の職場体験



【と き】 11月10日(火)

午前9時～正午

【ところ】 上野総合市民病院

【内 容】

病棟実習（看護補助者業務体験）、

交流会

【対象者】 介護福祉士免許取得の人

※令和9年3月末までに取得予定の人

も参加できます。

【申込方法】

住所・氏名・年齢・電話番号を下記

まで

※託児が必要な人は、申し込み時にお

申し出ください。

【申込期限】 11月2日(月)

申・問 上野総合市民病院看護部

☎ 24-1111 FAX 24-1565

✉ kango@iga-med.jp

ナースのための カムバックセミナー



【と き】 11月17日(火)・18日(水)

午前9時～午後3時

【ところ】 上野総合市民病院

【内 容】

○17日(火)：感染予防対策、看護技術

（採血・点滴静注・血糖

測定・吸引・口腔ケア）、

医療機器の取り扱い、救

急蘇生法

○18日(水)：病棟実習（看護業務体験）

【対象者】

看護師免許取得の人、育児休職後の

復職を考えている人など

※令和9年3月末までに取得予定の人

も参加できます。

【申込方法】

住所・氏名・年齢・電話番号を下記

まで

※託児が必要な人は、申し込み時にお

申し出ください。

【申込期限】 11月6日(金)

申・問 上野総合市民病院看護部

☎ 24-1111 FAX 24-1565

✉ kango@iga-med.jp



ファミリー・サポート・ センター交流会



◆にじいろコンサート

子育ての「困った！」をサポートす

るファミサポを知っていますか。

ファミサポの活動を知っていただく

ため、交流会としてルミエール・イリ

ゼの皆さんによるフルートのプチコン

サートを開催します。

日々の忙しい子育ての中で「ほっ」

とできる時間を提供します。

また、ファミサポで実際に預かりや

送迎を依頼している依頼会員や、活動

中の提供会員も参加しますので、実際

に利用した感想などを聞くこともでき

ます。

ファミサポに興味のある人はご参加

ください。

【と き】 11月7日(出)

午前10時～11時

【ところ】

ハイトピア伊賀 4階プレイルーム

問 子育て支援室

☎ 22-9665 FAX 22-9666

甲種防火管理再講習



大規模な特定用途防火対象物の防火管理者は、一定期間ごとの再講習が義務付けられています。より高度な管理能力と最新の知識と技術を習得するための講習です。

【と き】 11月5日(木)

午前9時～正午

【ところ】 消防本部 3階研修室

【対象者】

収容人員が300人以上の特定用途

防火対象物の防火管理者

【料 金】 テキスト代 1,760円

（伊賀市防火協会員は880円）

【定 員】 先着20人

【申込方法】 写真（縦4cm×横3

cm）とテキスト代を持参の上、下記

窓口で申請書を記入

【申込期間】 10月5日(月)～9日(金)

申・問 消防本部予防課

☎ 24-9105 FAX 24-9111



納税通知書用封筒に
広告を掲載しませんか



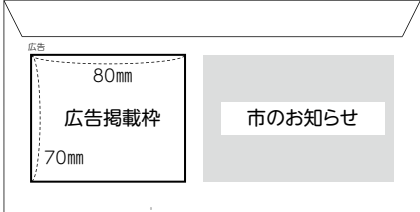
【対象者】 民間事業者・公共的団体
【掲載箇所】 封筒の裏面
【募集枠】 各封筒につき1枠
【募集する封筒の種類と広告掲載料】

名 称		
発送時期	発送数(予定)	掲載料
市民税・県民税・森林環境税 納税通知書用封筒		
令和9年 6月中旬	約 20,000 通	2万円

軽自動車税納税通知書用封筒		
令和9年 5月上旬	約 32,000 通	3万円

固定資産税納税通知書用封筒		
令和9年 4月上旬	約 46,000 通	5万円

【広告の規格】
大きさは縦 70mm×横 80mm、色は
単色、広告主の名称と連絡先を明記し
たもの（原稿は eps 形式）



広告掲載イメージ
【申込方法・掲載の決定方法】
詳しくは、市ホームページをご覧ください。
【申込期間】
10月29日(木)～11月12日(木)
申・問 課税課
☎ 22-9614 FAX 22-9618

10月29日は
世界脳卒中デー



「世界脳卒中デー」に合わせて伊賀上野城をブルーにライトアップします。脳卒中は予防が可能で、発症後1分でも早く専門的治療を開始することで後遺症を軽減できます。脳卒中の危険因子には、高血圧や糖尿病、高脂血症や運動不足、喫煙などが挙げられます。この機会に生活習慣を見直していませんか。
問 健康推進課
☎ 22-9653 FAX 22-9666

文字や手話で社会生活での
コミュニケーションを支援します



◆本庁舎窓口での手話通訳者の設置
各種申請や相談などの手続きの際に手話通訳が必要な人は、下記窓口へ申し出てください。
【手話通訳者を設置している日時】
火・木曜日（午前9時～午後4時）
※変更する場合もありますので、詳しくはお問い合わせください。

◆要約筆記奉仕員・手話通訳者派遣
【対象者】
市内在住で、聴覚障がい、音声・言語機能障がいの手帳を持ち、社会生活において必要不可欠な用務に意思を伝えるための仲介者がいない人
※難病患者で同等の障がいがあると認められる場合、派遣対象となることがあります。詳しくはお問い合わせください。
【派遣地域】 原則市内
※派遣料は無料ですが、派遣先の施設で駐車料金などが必要な場合は、依頼者で負担してください。


要約筆記奉仕員


手話通訳者

申・問 障がい福祉課

☎ 22-9656 FAX 22-9662

ピンクリボン
キャンペーン



乳がんの早期発見には、がん検診の受診と定期的な自己触診*が大切です。ピンクリボンキャンペーンでは、乳がんの基礎知識や自己触診についてお知らせします。各施設をご利用の際には、ぜひご覧ください。
*自分で乳房にしこりがないか触って確認する方法
【と き】
10月1日(木)～30日(金)
【ところ】
○ハイトピア伊賀2階・4階
○子育て支援センター
○本庁舎2階（こどもの育ち支援課）
【内 容】
○乳がんに関するポスター掲示
○ポケットティッシュ配布による啓発
問 健康推進課
☎ 22-9653 FAX 22-9666

自動通話録音装置を
無料で貸し出します



高齢者を狙った特殊詐欺被害を未然に防止するため、自動通話録音装置*を無料で貸し出します。特殊詐欺の犯人は、自分の声や通話内容など証拠となる音声が残ることを嫌うため、この装置を設置することで犯行を断念させる効果が期待できます。
*自動通話録音装置とは、電話回線と固定電話機の間に接続するだけで、電話着信時に発信側（相手）に対して警告メッセージを流し、通話中の音声を自動で録音する装置です。
【対象者】 市内に居住し、次のいずれかに当てはまる世帯の人
○65歳以上のひとり暮らしの世帯またはこれに準ずる世帯
○その他、市長が必要と認める世帯
【申込方法】
下記窓口で申請書を記入
※家族や関係者による代理申請も可能です。
※申請には、本人確認書類を持参してください。代理申請する場合は、代理申請者の本人確認書類もあわせてご用意ください。

問 くらし安全課
☎ 22-9638 FAX 22-9641

「伊賀市ごみ分別アプリ」



お住まいの地区のごみ収集日、分別区分や出し方などが確認できます。

問 さくらリサイクルセンター

☎ 20-9272 FAX 20-2575



ふるさと応援寄附金

返礼品協力事業者を募集しています




問 産業政策課

☎ 22-9669 FAX 22-9695
✉ furusato@city.iga.lg.jp

市民意見（パブリック
コメント）を募集します



◆第3期伊賀城和定住自立圏(伊賀市・名張市・笠置町・南山城村・山添村)共生ビジョン（中間案）
伊賀・山城南・東和定住自立圏では、令和9～13年度までを計画期間とする第3期共生ビジョンの中間案について意見を募集します。
【閲覧場所】 ○市ホームページ
○本庁舎1階ロビー
○本庁舎4階未来政策課
○各支所
○各地区市民センター
○笠置町希望のまち推進課
○南山城村企画政策課
○山添村総務課
○名張市総合企画政策室
【提出方法】 ウェブフォームまたはご意見記入用紙に、氏名・住所・電話番号・「該当ページ・該当箇所」ウェブフォームとそれに対する「意見内容」を記入し、下記まで。持参の場合は、各支所、各市町村窓口でも受け付けます。
※提出いただいた意見は検討資料とし、市ホームページで公表します。
※個別の回答は行わず、いただいた意見は返却しません。

【提出期限】
10月30日(金) ※必着
申・問 未来政策課
☎ 22-9620 FAX 22-9672
✉ miraiseisaku@city.iga.lg.jp

「伊賀市くらしのガイドブック」を更新します



市では、㈱サイネックスとの官民協働事業として、行政情報や地域情報など市民の皆さんの暮らしに役立つ情報をまとめた冊子「伊賀市くらしのガイドブック」の改訂版を発行します。この冊子は、令和9年2月末までに市内全戸へ配布予定です。
広告掲載を希望する人は、下記までお問い合わせください。
問 ○広告掲載について
㈱サイネックス 三重支店
☎ 0598-23-9220
○冊子について
秘書広報課
☎ 22-9636 FAX 24-7900

三重大学医学部医学科
学校推薦型選抜地域枠
Bの市長推薦



三重大学医学部医学科の令和9年度入学者選抜にあたり、地域医療を担う医師にふさわしい優れた能力・倫理観・責任感を有する志願者を推薦します。
【推薦要件】
次の要件をすべて満たす人
○三重大学の各推薦枠共通要件を満たすこと
○現に出願予定者を扶養する扶養義務者が市内に3年以上居住していること
○学校長の推薦を受けること
○卒業後、市の地域医療に貢献することを確約できること
○卒業後、指定する診療科（内科、外科、救急科、総合診療科）へ従事することを確約できること
【推薦枠】 2人以内
【選考方法】 面接
【面接日】 11月20日(金)
【申込方法】 必要書類を学校を通じて持参または郵送で下記まで
【申込期間】
10月1日(木)～23日(金) ※必着
※提出書類などの詳細は、お問い合わせいただくか、市ホームページ・三重大学学校推薦型選抜学生募集要項をご覧ください。
申・問 医療福祉政策課
☎ 22-9705 FAX 22-9673

宝くじの収益金の
社会貢献



ハロウィンジャンボ宝くじ（市町村振興宝くじ）の収益金は、市町が行う防災対策や、道路、公園、文化施設、福祉施設の整備、地域医療の充実支援など、よりよいまちづくりのために使われます。

ハロウィンジャンボ4億円

(1等2億円・前後賞各1億円合わせて)

ハロウィンジャンボミニ4千万円

(1等2千万円・前後賞各1千万円合わせて)

この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。

各1枚 300円

9月16日※2種類同時発売!

発売期間 9/16(水)～10/16(金)

公益財団法人三重県市町村振興協会

問 (公財) 三重県市町村振興協会

☎ 059-225-2138

起業・経営革新促進事業
補助金（第4期募集）



地域経済を維持・発展させるため、起業する人や経営革新を行う人に対して、その経費の一部を補助します。申請書類と審査会（11/26 予定）により採択者を決定します。
【対象事業】
①起業支援事業：
市内にある空き家・空き店舗を利用し、新たな事業を創出する取り組み
②経営革新支援事業：
新商品の開発・新市場の開拓・生産性向上などの、既存事業の経営革新を行う取り組み
【対象者】
①個人または法人
②市内に事業所などがある個人または法人
※上記以外に要件があります。詳細は募集要項をご確認ください。
【補助金額】 改修費・付帯設備費および広告宣伝や商品開発などに要する経費の2分の1以内
①20～150万円
②20～50万円
【申込方法】 申請書に必要な事項を記入し、必要書類を添付の上、下記まで
※申請書や募集要項などは市ホームページからダウンロードできます。
【申込期限】
11月12日(木) 午後4時必着
申・問 産業政策課
☎ 22-9669 FAX 22-9695
✉ sangyou@city.iga.lg.jp

伊賀市でくらす
外国人のための
生活ガイドブック

市役所での手続きや
生活情報が書いてあります。



問 多文化共生課
☎ 22-9702



図書館 だより

申・問 伊賀市中央図書館
☎ 21-6868 FAX 21-8999
(午前9時～午後9時)



10月の読み聞かせ

絵本の読み聞かせや紙芝居、手遊びなどをします。
(30分～1時間程度)

と き	ところ	催物（読み手）
10日(土) 10:30～	そうぞの広場 (大山田小学校)	おはなしたいむ (きらきら)
10日(土) 14:00～	おはなし室 (伊賀市中央図書館)	おはなしの会
21日(水) 10:30～	おはなし室 (伊賀市中央図書館)	えほんの森 (よもよも)
24日(土) 11:00～ 14:00～	青山複合施設 アオーネ	お話しどうぞ (どうっこクラブ)
25日(日) 10:00～	こどもテラス (伊賀市中央図書館)	あおぞらおはなし会
28日(水) 10:30～	おはなし室 (伊賀市中央図書館)	おひさでだっこのおはなし会 (よもよも)

図書館からのお知らせ

伊賀市中央図書館でハッピーハロウィン

「フォトブース」「ハロウィンシールプレゼント」「おりがみでつくろう」の3つの催しを用意しています。

【と き】 10月1日(木)～31日(土)

【ところ】 伊賀市中央図書館
地下1階児童コーナー

郷土の歴史夜咄会

伊賀の文化・歴史について、ゆかりの人物を中心に語ります。

【と き】

10月16日(金) 午後6時～7時30分

【ところ】 伊賀市中央図書館 2階学習・集会室

【テーマ】 三木 鶏郎・鮎郎の父 繁田 保吉

【講師】 「佳讀蔵文庫」主 北出 楯夫さん

【定 員】 50人程度

11月1日は点字の日

「点字の日」に合わせ、点字図書館と協力し、点字や読書を支えるさまざまなサービスを紹介します。

【と き】 10月23日(金)～11月15日(日)

【ところ】 伊賀市中央図書館 1階坂倉コーナー

◆点字体験・音訳体験

【と き】 11月1日(日) 午後2時～4時

私のおすすめ本メールBOX

皆さんから寄せられたおすすめ本を、紹介メッセージとともに展示します。

【と き】

10月23日(金)～11月15日(日)

【ところ】 伊賀市中央図書館
中2階ティーンズ展示コーナー

ときどき読書会

本をきっかけに、ゆるやかにつながる会です。お気に入りの本をお持ちください。

【と き】 11月7日(土)

午前10時～11時30分

【定 員】 先着10人(中学生以上)

※定員に満たない場合は、当日参加できます。

【申込方法】

申込フォーム、窓口、電話、ファックス

【申込期間】 10月18日(日)～11月4日(水)

大人の読書会

事前に課題本を読んで、その本の内容や感想などを自由に話し合う場です。

【と き】 11月8日(日)

午前10時～11時30分

【課題本】

課題本は後日、図書館ホームページ・Instagramでお知らせします。

【定 員】 先着10人(18歳以上)

※定員に満たない場合は、当日参加できます。

【申込方法】 申込フォーム、窓口、電話、ファックス

【申込期間】 10月16日(金)～11月4日(水)



伊賀市中央図書館
LINE 公式アカウント



伊賀市中央図書館
ホームページ



伊賀市中央図書館
公式Instagram

知っていますか 森林関係の届出など

◆売買や相続などにより、森林の土地を取得したとき

【届出の名称】

森林の土地の所有者届出書

【届出義務者】

森林の土地を取得した人

◆森林の立木を伐採するとき

【届出の名称】

伐採及び伐採後の造林の届出書

【届出義務者】

森林所有者など

◆森林法に基づく火入れをしようとするとき

【申請の名称】

火入許可申請書

【申請義務者】

森林法に基づく火入れを行おうとする人

※各様式は市ホームページからダウンロードできます。市ホームページをご覧ください。各法令や森林法の保安林制度などに基づき、許認可が必要な場合があります。

申・問 未来の山づくり推進課

☎ 41-0934 FAX 22-9715

リチウムイオン電池内蔵の 小型家電の捨て方

近年、充電式小型家電製品のバッテリーとして多く使用されているリチウムイオン電池がごみ処理施設で発火するトラブルが全国的に増えています。

ごみ処理施設で火災が発生すると、作業員がけがをしたり、施設が損壊するだけではなく、ごみ処理がストップするなど市民生活に大きな影響を及ぼすことになります。

リチウムイオン電池を内蔵した小型家電製品を捨てるときは、次のことにご協力ください。

○リチウムイオン電池は器具から取り外さず、本庁舎・各支所または各地区市民センターに設置している専用回収ボックスへ本体ごと投入してください。

○膨張したリチウムイオン電池は、衝撃などで破裂し発火する危険性が高いため、安全性の観点から電話連絡の上、直接、さくらリサイクルセンター事務所までお持ち込みください。

その他、ごみ分別に関してご不明な点は下記までお問い合わせください。※青山地域は伊賀南部環境衛生組合にご確認ください。

問 さくらリサイクルセンター

☎ 20-9272 FAX 20-2575

遊休農地の 発生防止・解消

◆遊休農地とは

現に耕作の目的に供されておらず、かつ、引き続き耕作の目的に供されないと見込まれる農地や、周辺地域の農地と比較して農業上の利用の程度が著しく劣っていると認められる農地のことです。

◆農地を守るために

遊休農地は、適切に維持管理されず雑草などが繁茂することで、病害虫の発生要因となります。また、野生鳥獣のすみかとなることで周辺農地の鳥獣被害の原因にもなります。結果、周辺農地との一体的な利用が困難になるため、農業の担い手への農地集積や集約化を阻む要因ともなります。

遊休農地を再び耕作可能な状態に戻すには、多大な時間と労力が必要です。そのため、まずは新たな遊休農地が発生することを防ぐことが重要です。また、遊休農地になってしまったとしても、その期間が短いほど、再び耕作可能な状態に戻すまでの時間や労力は少なくて済みます。早期に再生利用を行うことが非常に重要です。

問 農業委員会事務局

☎ 22-9720 FAX 22-9715

スポーツの力 ～する・みる・ささえる～

みえのスポーツ推進月間に運動を始めよう

10月・11月は「みえのスポーツ推進月間」です。10月12日のスポーツの日には鈴鹿市で県内最大級のスポーツフェスタが開催予定で、県内各地でもスポーツイベントが多数予定されています。伊賀市では、10月11日と18日、11月8日に伊賀市民スポーツフェスティバルを開催します。

気候が落ち着いてきた10月はスポーツを始める良いタイミングです。ウォーキングやジョギングなどは手軽に始められて、自分のペースで続けられるのでオススメです。紅葉を迎えるころには山登りなども魅力的ではないでしょうか。

2人以上集まれば、バドミントンやモルックなど

でも楽しめます。

市内のスポーツ施設では、各種用具の貸し出しもしていますので、お気軽にお問い合わせください。問い合わせ先は市ホームページをご覧ください。

スポーツの秋を楽しみましょう！



問 スポーツ振興課 ☎ 22-9635 FAX 22-9694



公共交通だより



秋のおでかけに公共交通はいかが？

秋風が心地よい季節に、バスや鉄道でのお出かけはいかがですか。10月から12月は「公共交通機関利用促進期間」です。これは、市民の皆さんに公共交通の利便性や必要性を改めて感じていただき、公共交通の維持・活性化につなげるための大切な期間で、今年のテーマは「乗る つながる 未来へ」です。

例えば「上野天神祭」。当日は交通規制や渋滞が予想されますが、鉄道ならその心配なく楽しめるかもしれません。伊賀鉄道の市部駅・丸山駅・比土駅には無料のパーク＆ライド駐車場があり、10月から12月は市営佐那具駅駐車場も無料開放しています。車から鉄道への乗り換えに大変便利です。

公共交通は、高齢者や学生など、車の運転ができない人のための移動手段とを感じる人もいます。しかし、公共交通を利用することは、

健康づくりや環境負荷の低減など、私たちの暮らしや社会にもさまざまなメリットがあります。

「今は車で十分」と感じる人も、一歩踏み出してみませんか。「今日は公共交通で出かけてみよう」という小さな一歩が、「公共交通」という移動の選択肢を未来につなぎ、誰もが安心して暮らせるまちを支える力になります。



☎ 公共交通課 ☎ 22-9663 FAX 22-9694

情報交流ひろば となりまち

甲賀市

スポット展示 十字形洋剣一水口レイピア

大航海時代のヨーロッパで用いられた洋剣レイピア。国内に唯一現存する「水口レイピア」が期間限定で特別公開されています。実はこのレイピア、約400年前、ヨーロッパのものをモデルに、当時の日本の技術の粋を集めて作られたものでした。異文化交流の歴史を物語る貴重な文化財を、この機会にぜひご覧ください。



【と き】 10月1日(木)～11月1日(日)

【ところ】 水口歴史民俗資料館
(甲賀市水口町水口 5638)

【開館時間】 午前10時～午後5時

※月・火曜日休館

【料 金】 200円

【アクセス】 近江鉄道「水口城南駅」下車東側すぐ

☎ 水口歴史民俗資料館 ☎ 0748-62-7141

伊賀・甲賀・亀山

亀山市

第39回東海道関宿街道まつり

東海道五十三次 47番目の宿場町・関宿で「街道まつり」が開催されます。重要伝統的建造物群保存地区の町並みを、華やかな宿場大行列が往来し、江戸時代の風情を体感できます。今年のテーマは「亀山ゆかりの時代行列」。特産品販売やイベントも充実。歴史と賑わいの関宿へ、ぜひお越しください。



【と き】 11月1日(日)
午前10時～午後3時 (小雨決行)

【ところ】 旧東海道関宿の街道一帯

【アクセス】 JR 関駅下車徒歩5分

☎ 東海道関宿街道まつり実行委員会事務局
(亀山市商工観光課内) ☎ 0595-84-5074

伊賀城和
定住自立圏
— IGAJOWA —

伊賀城和(伊賀・山城南・東大和) 定住自立圏ニュース

☎ 市民活動支援センター ☎ 22-1511 FAX 22-0317

TOPICS

エヌワン

N-1 グランプリ in 伊賀城和 2026

パネル展示 & 投票

定住自立圏で公益的な活動をする団体が作成した活動紹介パネルを6つの会場で展示し、グランプリを選ぶ投票を受け付けています。活動紹介パネルは、ホームページからも閲覧や投票ができます。パネルを見て、応援したい団体に投票をお願いします。※投票は1人1票です。

【会場ごとの展示・投票期間】

会 場	開館時間	休 館 日
【展示・投票期間】 10月1日(木)～31日(土)		
伊賀市ゆめぼりすセンター 交流スペース	午前9時～午後5時	なし
笠置町産業振興会館 1階 (笠置町大字笠置小字佃 46)	午前9時～午後5時	月曜日
南山城村文化会館 やまなみホール (南山城村大字北大河原小字久保 8)	午前9時～午後5時	月曜日
山添村役場 (山添村大字大西 151)	午前8時30分～午後5時15分	土・日曜日、祝日
名張市市民情報交流センター (名張市希央台 5-19 Navarie 2階)	火～土曜日：午前9時～午後7時 日曜日：午前9時～午後5時	月曜日
【展示・投票期間】 10月14日(水)～30日(金)		
ハイトピア伊賀 5階展示ギャラリー	午前9時～午後5時	なし



インターネットでパネルを見て投票する場合はこちら▶



上野総合市民病院だより

◆ X線透視装置を更新しました

昨年10月に当院のX線透視装置を更新しました。X線透視装置は、レントゲンとは異なり、テレビモニターでリアルタイムに体内の臓器や造影剤の様子を観察することができる装置で、胃や腸などの消化器疾患の検査や治療には欠かせません。

本装置は、寝台を大きく動かすことなく検査ができるため、患者さんの負担軽減に加え、安全性も向上しています。また、高画質な画像により体内の臓器や病変を鮮明に描出できるため、正確な診断や治療につながります。さらに、画像処理技術の向



ライガとライナ



上により、被ばく線量の低減にも配慮しています。当院では、内視鏡を用いた検査や治療、消化管へのチューブ挿入など、さまざまな検査・処置に活用しています。

当院では、地域の皆さんが安心して受診できるよう、先進的な医療機器を導入し、これからもより質の高い医療サービスの提供に取り組めます。

(放射線技術課 林 大也)

伊賀の歴史余話 49

目で見て学ぶ植物～黒川喬雄の植物標本～

伊賀地域の植物研究者といえば、大正7（1918）年から36年間にわたり上野で教鞭を執り、「イガザサ」「アヤマスズ」などの新種を発見した黒川喬雄が挙げられます。彼は生徒が体験できる教育を理念としていて、野外観察や植物採取など、直に自然に触れることができる授業を行いました。例えば、手製の盆栽を教室に運んだり、長期休暇の際に植物採取や観察の宿題を出すなど、教科書を読むだけではなく実際の自然を体験できるように工夫を凝らしました。

市に寄贈されている黒川の植物標本は、昭和初期から昭和35（1960）年までを区切りとしてまとめられたものです。教鞭を執っていた時期に採取したものも多く、約1,400点も残された標本は、実際に授業でも活用されました。黒川の作成した標本は、生徒たちが標本を見て植物に興味を持つことを意図したものが多く、そのため一般的な標本とは異なり、解説などが細かく書き込まれています。

写真は昭和13（1938）年10月に三田で採取さ

れたセンブリとイヌセンブリです。リンドウ科の植物で、採取された10月頃に紫色の線が入った白色の花をつけます。イヌセンブリは環境省レッドリストにて絶滅危惧種に指定され、現在では個体数が減少しています。この標本ではセンブリとイヌセンブリを一緒に配置し、花卉や葉、薬効の有無などの特徴を記載しています。また、学名などの変化する可能性がある項目に関しては修正できるよう鉛筆で記載しています。

初心者が差異を目で見てすぐに理解できるよう配慮された黒川の標本は、教材としても植物学の資料としても貴重なものといえます。



▲センブリとイヌセンブリ

文化財課歴史資料係 ☎/FAX 41-2271

明日に向かって～差別をなくしていくために～

地区懇に参加しませんか 一人権政策課

「人権啓発地区別懇談会（地区懇：ちくこん）」をご存じですか。これは、差別をなくすために地域住民が集まり、さまざまな人権問題について自分の思いや考えを語り合うということを目的に行っています。また、地域住民同士のつながりを作り、自分たちで話し合い、地域の課題を解決する力をつけていくことも目的の一つです。

皆さんは地区懇に参加されたことはありますか。「差別はいけないことだと分かっているし、私は差別をしないから関係ない」「人権の勉強会は、意見を求められるから苦手だ」と感じている人も多いのではないのでしょうか。以前は、私も自ら進んでそのような場に参加していたわけではありませんでした。当時の私は、「正しい答えを言わないといけない」「間違えたことを言ってしまったらどうしよう」という思いから、苦手意識を持っていたのかもしれ

ません。

しかし、地区懇をはじめ、さまざまな研修会や学習会、交流会に参加する中で、大切なのは、「正しいことを言う」のではなく、「自分自身のありのままの想いを伝える」ことだと気付きました。

一人ひとりがそれぞれ思いや考えを持っています。それらを共有し、お互いに相手の意見を尊重しながら共に考えを深めていく先に、差別をなくし、誰もが住みやすい地域社会があるのではないのでしょうか。

地区懇は、自分とは異なる視点や、さまざまな人の想いに触れることができる貴重な機会です。今年も市内各地で開催される予定ですので、ぜひ参加していただき、さまざまな人の想いに触れ、自分自身を見つめる機会にしていいただければと思います。

■ご意見などは人権政策課 ☎ 22-9683 FAX 22-9641 ✉ jinken-danjo@city.iga.lg.jp へ



「イガプロ」とは、「イガ」と「プロダクト（製品）」、「プロフェッショナル（専門家）」などさまざまな「プロ」を掛け合わせた造語です。

SDG IGA SDG 伊賀株式会社

当社は伊賀の地で、風を送り、空気をきれいにする「送風機」「集じん機」といった、さまざまな産業を支える重要な機械を製造しています。堅実なものづくり企業であると同時に、モーターサイクリススポーツなどの活動を展開する、アクティブでカッコいい一面も持っています。

このモータースポーツ活動やバスフィッシング業界とのつながりを生かし、顧客開拓へとつなげています。

一方で、年に一度の秋祭りでは、従業員の家族や取引先の皆さんを招待し、無料の出店や「いもほり体験」などで大いに盛り上がります。グループ会社とも顔を合わせ、抜群のチームワークを育む大切な機会です。「買う身になって深切に」という顧客志向を大切に、確かな技術と多彩な魅力で、私たちはこれからも成長を続けます。

◆社員のコメント

産業用送風機や集じん機は普段あまり目にする機会が少ない製品ですが、多くのものづくりの現場を支える重要な役割を担っています。

入社して3年が経ち、少しずつできることが増え、自分が携わった製品が社会の役に立っていることにやりがいを感じています。

また、週休3日制なので仕事とプライベートのメリハリをつけやすく、趣味や家族との時間もしっかり確保できます。働きやすい環境の中で成長できることが、この会社の魅力だと感じています。（製造グループ 村上想）



◆会社概要

【設立】 1962年12月

【所在地】 下柘植 5030

【従業員数】 81人

【事業概要】

送風機・集じん機の製造

【連絡先】 ☎ 45-2721

<https://www.sdg-eng.com/>



問 産業政策課 ☎ 22-9727 FAX 22-9695

11月の無料相談

暮らしのいろいろな問題と悩みごとについて相談をお受けします。詳しくは市ホームページをご覧ください。



相談内容	開催日	時 間	場 所	問い合わせ／備考	電 話
法律相談 ※予約制 *市職員（弁護士）が相談に応じます。 （年度内1回のみ）	① 12日(木) ② 24日(火)	13:00～16:30	本庁舎 2階相談室3	くらし安全課 ① 11/5 8:30～受付 ② 11/17 8:30～受付 ※先着6人	22-9638
法テラス法律相談（弁護士） *収入要件あり ※予約制	18日(水)	13:00～16:00	本庁舎 2階相談室3	法テラス三重 ※受付期限（11/17） ※先着6人	050-3383-5470
行政相談（行政相談委員） *行政に関わる日常の困りごとをお伺いします。	11日(水) 19日(木)	13:30～15:30 13:30～16:00	本庁舎 2階相談室3 青山複合施設 アオーネ 会議室3	くらし安全課 青山支所	22-9638 52-3227
司法書士相談（登記・相続・借金問題など） ※予約制	25日(水)	13:00～16:00	本庁舎 2階相談室3	くらし安全課 ※受付期間（10/29～11/24） ※先着5人	22-9638
女性法律相談（離婚・親権など） ※予約制 （年度内1回のみ）	11日(水)	13:00～16:00	ハイトピア伊賀 4階相談室	人権政策課 ※受付期間（10/26～11/6） ※先着4人 ※オンライン相談 申込フォーム	22-9632
人権相談（人権擁護委員）	19日(木)	13:30～16:00	本庁舎 2階相談室3	人権政策課	22-9683
出張年金相談 ※予約制	12日(木)	10:00～15:00	ハイトピア伊賀 3階	津年金事務所	059-228-9112
外国人のための行政書士相談 ※予約制	5日(木)	13:30～16:00	本庁舎 2階相談室3	多文化共生課 ※受付期限（10/30） ※先着4人	22-9702
こころの健康相談 ※予約制	24日(火)	14:00～17:00	三重県伊賀庁舎 1階	伊賀保健所 ※受付期限（11/17）	24-8076
健康相談	27日(金)	9:30～10:30	ハイトピア伊賀 4階ミーティングルーム	健康推進課	22-9653
高齢者の就業相談	5日(木) 19日(木) ※予約制	13:30～15:00	阿山支所 (公)伊賀市シルバー人材センター事務所（西明寺 2782-92）	シルバー人材センター	24-5800

※ハイトピア伊賀駐車場は有料です。

常時開設相談

※相談時間などはお問い合わせください。

相談内容	問い合わせ	電 話	相談内容	問い合わせ	電 話
消費生活相談	くらし安全課	22-9626	障がい者の総合相談	障がい者相談支援センター	26-7725
空き家に関する相談	空き家対策課	22-9676	ふれあい相談（教育相談）	教育研究センター	24-0783
高齢者の総合相談	地域包括支援センター	26-1521	青少年相談	青少年センター	24-3251
女性相談 ※予約優先	こどもの育ち支援課 こども家庭相談係	22-9609	若者の就労相談 ※予約優先	いが若者サポートステーション	22-0039
家庭児童相談 ※予約優先			雇用・労働相談	産業政策課	22-9669
母子・父子自立相談 ※予約優先			生活にお困りの方の相談	生活支援課	22-9650
こどもの発達相談	こどもの育ち支援課発達支援係	22-9627	人権相談	人権政策課	22-9683

11月の子育てカレンダー

子育て支援のための教室・事業のご案内

月	火	水	木	金	土	日
						1
2 乳幼児相談 ほっぺ すくすくひろば ひまわりひろば エンジェルサークル	3	4 おはなし会 ぐるんぱ ひまわりひろば さあ始めよう離乳食	5 あんずっこひろば ひまわりひろば ベビーマッサージ	6 乳幼児相談 らぶらぶひろば げんきっこ	7	8
9 すくすくひろば ひまわりひろば エンジェルサークル	10 離乳食教室 ひまわりひろば	11 よちよち のびっこひろば ぐるんぱ ひまわりひろば	12 ぐんぐん ベビーマッサージ	13 らぶらぶひろば だっこ おはなしひろば	14 にんにんパーク（上野南公園） おやこdeわくわく教室 土曜広場	15
16 おたのしみひろば すくすくひろば ひまわりひろば	17 ひまわりひろば	18 くるみっこひろば 乳幼児相談 ぐるんぱ ひまわりひろば	19 てくてく ベビーマッサージ	20 プレイルームで親子の時間	21	22
23	24 ひまわりひろば	25 わんわんひろば ぐるんぱ ひまわりひろば 離乳食お悩み相談室	26 なかよし広場 すくすくひろば ひまわりひろば ベビーマッサージ	27 ぴよぴよ らぶらぶひろば ベビータッチ	28 ふれあい広場 土曜広場	29
30 らぶらぶひろば わくわくひろば すくすくひろば ひまわりひろば 赤ちゃんなんでも相談・はつぽく測定会	◆各センターのプレイルームで遊べます 月～金 9:00～17:00 土 9:00～12:00 にんにんパーク開催時は閉所 月～金 9:00～17:00 月～金 9:00～16:00 火～土 9:00～17:00 月～水 10:00～16:00 月・水・金・土・日 12:00～17:00					

各教室・事業の詳細や申込方法は市ホームページからご確認ください。



11月の健診

【1歳6カ月】 5日(木)
【3歳児】 17日(火)



子育て支援教室フォトレポート



8月20日(木)に阿山子育て支援センターで「ぴよっこエプロン」を開催しました。野菜をスタンプにして、Tシャツ型の紙にペタペタ飾り付け。手作りスイカをつけたら、世界にひとつのかわいいインテリアが完成しました。

問い合わせ ……………

- 子育て包括支援センター ☎ 22-9665
- いがまち子育て支援センター ☎ 45-1015
- 島ヶ原子育て支援センター ☎ 59-9060
- あやま子育て支援センター ☎ 43-2166
- 大山田子育て支援センター ☎ 47-0088
- 青山子育て支援センター ☎ 53-0711
- 曙保育園「すくすくらんど」 ☎ 21-7393
- 森川病院「エンジェル」 ☎ 21-2425
- （健診）こどもの育ち支援課 ☎ 41-1556
- （乳幼児相談）子育て支援室 ☎ 22-9665

伊賀市 LINE 公式アカウント

子育て支援、親子で参加できるイベント情報をお届け！（受信設定で「子育て・教育」を選択）



友だち追加はこちら▲



応募方法など詳しくはこちら ▶ 
問 秘書広報課 ☎ 22-9636

伊賀市内で撮影された風景、人物、暮らしの様子などすてきな写真を紹介します。

やぶさめ
「流鎧馬の勇姿」



毎年行なわれている岡八
幡宮での流鎧馬で走馬一体
の迫力でした！

投稿者 駒田 直哉さん

「伊賀ダイヤ富士？笑」



早朝散歩時の服部橋から幻想的な
ワンショット。

投稿者 BBT 7080 さん

「ヤマセミの狩り」



服部川で珍しいヤマセミに出会え
ました。上手く撮影できた。

投稿者 西 秀樹さん

10月の二次救急実施病院 ※二次救急（重症）の人が対象

日	月	火	水	木	金	土
* 小児科以外の診療科です。				1 名張	2 上野	3 名張
4 岡波・名張	5 岡波	6 名張	7 岡波	8 名張	9 上野	10 上野
11 岡波	12 岡波	13 上野	14 岡波	15 名張	16 上野	17 名張
18 岡波・名張	19 岡波	20 名張	21 岡波	22 名張	23 上野	24 上野
25 岡波	26 岡波	27 上野	28 岡波	29 名張	30 上野	31 名張

※重症者が重なるなど、診察できない場合があります。
※非当番日は救急の受け入れを行いません。

実施時間帯
(上野総合市民病院・名張市立病院)
平日：午後5時～翌日午前8時45分
土・日・祝日：午前8時45分～翌日午前8時45分
(岡波総合病院)
月曜日：午後5時～翌日午前9時
水曜日：午後5時～翌日午前8時45分
日曜日：午前9時～翌日午前8時45分
※月・水曜日が祝日の場合、午前9時～翌日午前8時45分

救急車で搬送以外は必ず事前連絡を
上野総合市民病院 ☎ 24-1111
名張市立病院 ☎ 61-1100
岡波総合病院 ☎ 21-3135



伊賀市応急診療所 ☎ 22-9990 (上之庄 1700-1)

※夜間・休日手術・入院を伴わない一次救急の人が対象

診療科目 一般診療・小児科
診療時間 (月～土曜日) 午後8時～11時
(日・祝日) 午前9時～正午・午後2時～5時・午後8時～11時
※受付は診療終了時刻の30分前まで

※診療体制確保のため、駐車場到着後に電話で症状を伝えてください。
※各種感染症検査・点滴・レントゲン検査・血液検査などは行っていない。
※救急車利用の場合、帰りの手段は各自で手配してください。

救急車を呼ぶか迷うとき
(24時間 通話・相談無料)
伊賀市救急・健康相談ダイヤル24
☎0120-4199-22

受診できる医療機関が
知りたいとき(24時間)
三重県救急医療情報センター
☎059-229-1199

伊賀市の人口・世帯数 (令和8年8月末現在)
総数 82,368人 (前月比 -84)
世帯数 40,541世帯 (前月比 -5)

今月の納税
納期限 11月2日(月)
市県民税・森林環境税 (3期)
国民健康保険税 (4期)